



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第62号
R5.1.20
文責：佐藤

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

全校書き初め会



1月17日（火）の3校時は、全校書き初め会でした。昨年度は休み明けすぐコロナのために臨時休業措置をとったため、2年ぶりの実施となりました。つまり硬筆の1・2年生は初めて、3・4年生は毛筆に初めて挑戦しました。この行事は、「日本の伝統文化である書き初めを通して書写に対する興味・関心を高め、字配りに気を付けるなど、学んだことを日常に活かそうとする態度を育てる」ことをねらうものです。

当日は放送を使用してはじめての会を行い、平安時代から伝わっている書き初めについて簡単に私がお話をしました。その後、「春の海」のBGMが流れる中、今年の恵方南南東に体を向け、3年生「友だち」、4年生「明るい心」、5年生「新しい風」、6年生「将来の夢」の課題に向き合いました。校舎内がしんと静まり返り、ほとんどの子どもたちが集中して一筆一筆ていねいに作品を仕上げていました。毛筆は1学年上がると筆遣いに上達が見られ、感心させられました。一方、低学年でも出来上がった作品を見比べて、どれを清書として提出するか考えている姿が見られ、その真剣な取り組みをうれしく思いました。

子どもたちが心を込めて書き上げた作品は、ただ今校内に展示中です。1・2年生の作品は教室前のスペース、3年生以上の作品はランチルームです。1月いっぱい展示していますので、放課後にでも子どもたちののんびりをご覧いただけたらと思っています。



家庭学習ノート展示会

今週いっぱい玄関ホールには、1年生から6年生まで全員の冬休み家庭学習ノートが展示されていました。他の学年のお友達のノートを手にとって開いて見ている子どもが見られました。



1冊びっしり学習して2冊目も添えられているもの、残念ながら数ページで終わっているものと様々見受けられました。問題などやりっぱなしでなく、自分で丸付けをして間違いを直すところまでできているのは、正しい内容が身に付くと思います。学んだ基礎・基本をしっかりと定着できるよう、自分のために日々の積み重ねを大切にしてほしいです。継続は力なり！

P T A 役員 の 選 出 に つ い て

今年度も規約に基づいて、来年度のP T A役員 の選出が始まりました。立候補については1月24日（火）まで受付となっています。実は、昨年度はコロナの影響で2月のP T A総会を紙上開催とし、次のようなご意見をいただいております。（途中省略）

初めて学年役員を経験したのですが、コロナ禍だからあまり部の取組もなく1年が終わろうとしています。役員は大変、三役はもっと大変とよく聞きますが、役員や三役を選出する前に具体的にどのような活動をどのくらいのペースでやるのかが分かれば、もっと積極的に参加できる方が増えるのではないかと考えています。少子化が進み、子供の人数が少ないクラスも増えてくる時代です。しかし、共働きの家も多く、負担になると感じるのが当たり前だと思いますが、子供達のために親が力を合わせていかなければいけないと思うので、活動を開示することと、役員 の在り方も、子供の人数や家庭状況等を踏まえながら変化させていく必要があるのではないかと思います。役員や三役は大変というネガティブなイメージが一人歩きしているような感覚も感じました。

本校のP T A役員は各学年から4名選出され、それぞれ総務・教養・広報・環境保健の4つの部に所属します。4月の総会資料にあるように、総務（あいさつ運動、学年レク企画、学校行事等の補助）、教養（運動会・旧藩際等の補助）、広報（年2回の広報発行）、環境保健（運動会補助・例年は窓拭き作業）が主な活動となっています。P T A三役となると、年3回の学校運営協議会や小・中合同P T A等の会議への出席を求められます。コロナ禍においては臨時の三役会を必要に応じて開催しました。しかし、当然どれも都合の付かない場合には代理を立てたり、欠席したりしながら役員全体で協力してきています。

上記の貴重なご意見のとおり、PもTも協力し合って、子供達のためにできることに取り組んでいきませんか。プラス思考で取り組むことが楽しい活動ややりがいにつながっていくと思っています。

保護者の皆様、ご協力よろしくお願いたします。